

特集 その後どのように暮らしていますか？

トトロの森を望む家





特集 その後どのように暮らしていますか？

トトロの森を望む家

東京都東村山市 | 木造一戸建て | N邸(ご夫婦)

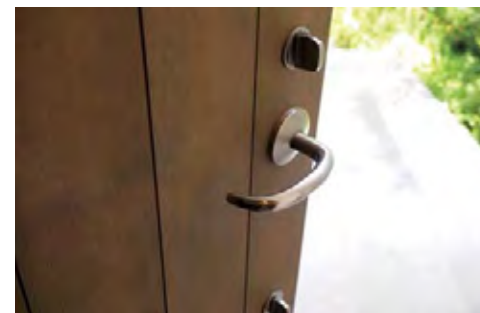


1

ストーリー

"トトロの森"として親しまれる自然豊かな八国山緑地の麓に佇む、N様の住まい。時折聞こえる小鳥たちの澄んだ鳴き声や、風に吹かれた樹々のサワサワとした音にとっても穏やかな気持ちになる場所です。こちらに住みはじめて1年と半年ほどになるN様ご夫婦に、現在の暮らしぶりや当時の家づくりについてお話を伺いました。

「家づくりは結婚をきっかけに考えはじめました。最初は中央線沿線の交通や買い物などの利便性が良く、緑に囲まれた場所が希望でしたが、思いのほか土地の値段が高くて求める物件が見つからなかったんです。そんな中次第に魅力を感じるようになったのが、家づくりの打ち合わせでよく訪れていた東村山でした。」



▲ リビングの延長として景色を楽しむ奥行のあるバルコニー

2 景色を活かした空間

「打合せが終わった後、近くを散歩してみると小さなカフェやきれいな用水路があって、自然がいっぱいの良い場所だあって。案外このまちが自分たちの条件を満たしていることに気がついたんです」と笑顔で語るご主人。

その後、目の前に緑の森が広がるこちらの土地が見つかりました。プランの打合せを重ねながら住まいのイメージを考えていく中で「せっかくならこの景色を最大限に活かした家になりたい」——そんなN様の想いから、ゆっ

たりと外を眺められるベンチがついた、大きな引込み窓のある2階リビングの家が完成しました。室内から見える窓辺の様子は、まるで森の緑を切り取った一枚の美しい絵を眺めているような、そんな不思議な気分になります。

3 暮らしの工夫



1



2



3



4

1: 窓辺のベンチの下は座布団もしまえる収納スペースに。2: 籠り感と清潔感のあるキッチン。3: 磁石と画鋏で壁にくっつく可愛い花差し。4: 猫用の足場。飾り棚としても活用できます。



猫用の小さな通り道

オッドアイが可愛い猫のマロちゃん



▲ みんなが過ごしやすい家

2匹の猫ちゃんがいるN様の住まい。「猫たちにとっても住みやすい家になるように」と、壁に通り抜けられる小さな穴やジャンプしながら移動できる足場がとりつけられていました。また、キッチンはリビングとつながりつつもあまりオープンにはせず、落ち着きのある籠り感に。

周囲の景色に 馴染んだ庭

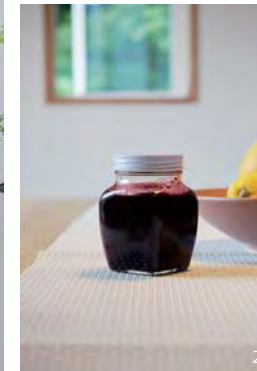


華やかな花や実よりも、雑木や石などの自然体な素材をメインにして造園家の小林賢二さんと一緒に考えたというお庭。「ちょっと手間がかかるけれど、お庭がこんなに楽しいとは思わなかったです。最近では自分でお花やハーブを植えて育てていますよ」とにっこり笑顔の奥様。



1

1: 石と緑が程よいバランスの玄関アプローチ。2: お庭のジューンベリーの実から作ったジャム。3: 既存の外周コンクリートを利用して枝垂れさせたブルーパシフィック。4: 植栽に囲まれた外観。



2



3



4

取材後記

担当スタッフは土地探しでは営業部の栗林、プランを考える際は設計部の中村・菊池、現場は工事部の橋詰、大工は山本棟梁。「みんな自分たちと年齢が近くチームのような一体感があり、とても楽しく家づくりができました」と笑顔でお話くださったN様ご夫婦。この日は設計部の中村も取材に同行。お客様が住まれた後も、こうしてお付き合いさせて頂けることが本当に素敵だなあと感じました。(記: 広報 吉川)



▲ N様と設計担当の中村



設計・施工: 相羽建設 / 撮影取材・編集: 中村・伊藤・吉川
ainohaバックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>





特集 その後どのように暮らしていますか？

緑が包む小さなうち

特集 その後どのように暮らしていますか？

緑が包む小さなうち

東京都東久留米市 | 木造一戸建て | F邸(ご夫婦+お子様3人)



1

ストーリー

雑木の樹々に囲まれて、まるで森の中に佇むような可愛らしい住まい。こちらに住みはじめてから2年が経つ、5人家族のF様の暮らしぶりを伺いました。

以前は23区内の職場近くの集合住宅に住んでいたというF様。お子様が生まれたことと、"自分で自宅の設計をしたい"という奥様の想いから、土地探しからの家づくりがスタートしました。「この家のすぐそばに、湧水のあるとても綺麗な川が流れているんですよ。土地探しをしているときに偶然見つけて……実はそれが決め手でこの土地を購入しました。周りは畑や緑も多く、小さな子たちが川遊びできる広場もあり、こんな環境で子育てできたら良いなあと思って」と笑顔で当時を振り返る奥様。



引込み窓により外の景色をより身近に感じられる1階リビング

2

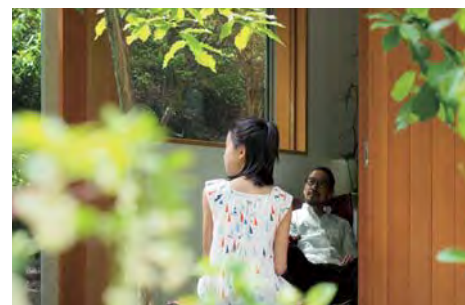
暮らしのサイズ

デザインや機能性の前に、家族の生活に寄り添うことを大切に考えたい……そんな想いを持ってプラン設計をした奥様。家を建てるにはとても環境の良い立地でしたが、F様の家族構成からするとこの土地は少々コンパクトなサイズでもありました。そのため、住まいの複数の機能をひとつの空間に納めたり、駐車場をつくらない分、外部の景色を取り入れられる大きな窓や、ゆったりとした庭づくりをしたり。様々なアイデアと工夫が盛り込まれていました。「試行錯誤の連続でしたが、知らなかった建築の知識や現場のことまで、相羽建設のみなさんと一緒に協力しながら進められたことに感謝しています」。

新たな暮らしがはじまると、緑の中に馴染んだ住まいを見て、ご近所さんがよく声をかけてくれたそうです。「今ではご近所さんとも仲良しになりました。畑を持っている方が子どもたちに芋ほり体験をさせてくださったり、川遊びができたり、実際の土地のサイズ以上に豊かに住まわせて頂いてますよ」。



▲ 子どもたちが安心して川遊びできる、自宅近くの湧水のある川。



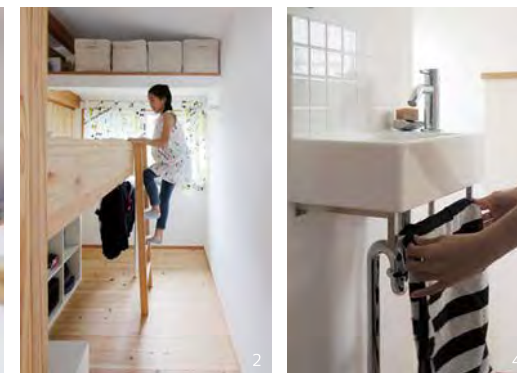


▲ ガラスと鉄のテーブルはご主人のデザイン

生活しながら 足していく



以前はワンルームだった2階寝室は、この春中学生になったお姉ちゃんのために、DIYで間仕切り個室がつけられていました。「限られた空間で、必要な時に必要な部分を自分たちで考えて変えていく。それが家族のテーマになるように楽しみながら暮らしたい」というF様。



1:2階寝室。2:ご主人自ら間仕切り工事で作った個室。3:間仕切りした壁面を本棚に。4:コンパクトな洗面台。タオル掛けはご主人特注金物。

3 暮らしの工夫



◀ カラフルな和風柄が可愛い、奥様の陶芸作品（オーナメント）



▶ ご主人特注の、梁に掛けられる物干し金具&ポール

▲ 場所を兼用する

延床面積約21坪の中に、家族5人が暮らすF様の住まい。リビング・ダイニング・キッチンを一室に納め、洗面・トイレも一つの空間にまとめるなど、場所を兼用した設計になっています。また、建築金物会社に勤めるご主人特注の、キッチン棚板や無垢のタオル掛けなどのオリジナル金物が空間のワンポイントに!



取材後記

足りないものは自分たちでつくろう!というF様のアイデアと、コンパクトな空間だからこそ暮らしの工夫が本当に素晴らしく、クオリティの高さに驚くばかりでした!そして何よりご家族みんなが楽しそうに日々を過ごされている様子が伝わってきました。今後お庭の中に、まちの人たちが立ち寄れるような陶芸工房兼ギャラリー小屋をつくる計画もされているそうです。とっても楽しみです!(記:広報 吉川)



設計:お施主様・相羽建設/施工:相羽建設
撮影取材・編集:伊藤・吉川 ainohaバックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>





特集 その後どのように過ごしていますか？

家族だんらんの「あったかい家」

特集 その後どのように過ごしていますか？
家族だんらんの「あったかい家」

東京都小平市 | 木造一戸建て | 1邸(ご夫婦+お子様2人)



1
ストーリー

緩やかに続く大谷石のアプローチを抜けた先に、爽やかな青色の外観の住まいがありました。今回ご紹介するのはこちらに住みはじめてから2年半ほど経つ、4人家族の1様の暮らし。もともとはマンションにお住まいでしたが、相羽建設のモデルハウスを訪れたことが自然素材の家に住みたいと感じるキッカケになったのだそうです。「いろいろなイベントに参加しながら様々な土地を見に行きました。梅雨時や寒い時期に宿泊体験も何度かさせて頂いたりして。でもなかなか具体的にならなくて……そんなとき、この土地を紹介してもらったんです」。



2

家族が集まるだんらんスペース

土地が決まるとさっそくその場所にあったプランを考えます。ちょうど隣が緑いっぱいの敷地だったことから、1階はその景色を楽しめるように、雪見障子のある"堀座卓"のダイニングスペースが設けられていました。「いわゆる一般的なテーブルではない形がいいなあと思っていたんです。こうすれば足も入れられるし、畳スペースもあってゴロンと昼寝もできて、すごく気に入っています」と笑顔でお話し下さったご主人。今では家族が自然と集まる居心地の良い場所になっているようです。さらに座卓の下にはOMソーラーの吹き出し口もついているので、冬は太陽の熱で足元からじんわり暖まります。「冬はOMソーラーが本当にあったかくて、基本的にはずっと裸足で過ごしてます。家の中がまんべんなくあたたかいので、外が寒いことを忘れて上着を着ないで出かけそうになることもありました(笑)」。

家の中もあたたかく、家族だんらの様子に心もあたたまるような、そんな1様の暮らし。



▲ 手前に収納機能もついた堀座卓





特集 その後どのように暮らしていますか？

本と緑とゆったりカフェのような暮らし

特集 その後どのように暮らしていますか？

本と緑とゆったりカフェのような暮らし

東京都国分寺市 | 木造一戸建て | N邸(ご夫婦+お子様2人)



1

ストーリー

今回訪ねたのは、ご家族4人が暮らすN様の住まい。入居してから3年ほどが経ち、新築当初はまだ小さかった庭の植栽もぐんぐんと育って、絵本に出てくるような素敵なお外観となっていました。「まだ息子がお腹にいる頃、『この子の地元になるような場所をつくってあげたい』——そう思ったのが家づくりのきっかけでした。僕は団地育ちなので、昭和の団地ならではのコミュニティの良さみたいなものを知っていて、そういう環境を息子に与えてあげたいなっていう思いがあったんです」とご主人。そこからN様の家づくりははじまりました。



造園デザイン:ソエン



2 魅力的な場所

様々な土地を見て回る中、「ひとつの土地でも色々な時間帯を見に行くと良い」そんなアドバイスから早朝にこの土地を見に来たというN様。「ちょうど働きに出るお父さんを『いってらっしゃい!』と送り出している家族の姿を見て、

なんだか良いところだと思っていました。子育て世帯が多かったこともここを選んだ理由のひとつですね。家が完成し、N様が住んでみて一番印象的だったのがご近所さんとの関係でした。「夫婦共働きなので息子のことが心

配だったんですけど、ご近所のみなさんが『何かあったらおいで』と言って下さって。隣の家の子も兄弟のように遊んでくれたり、少しシャイだった息子がこんなに元気に育ってくれたのはご近所さんのおかげです。」



本いっぱいの書斎 ▶

壁一面に本が並ぶ2階書斎。本好きのご家族のためのスペース。廊下の奥まったところにあるので、仕事や勉強などでじっくり集中したい時にはぴったりの場所です。

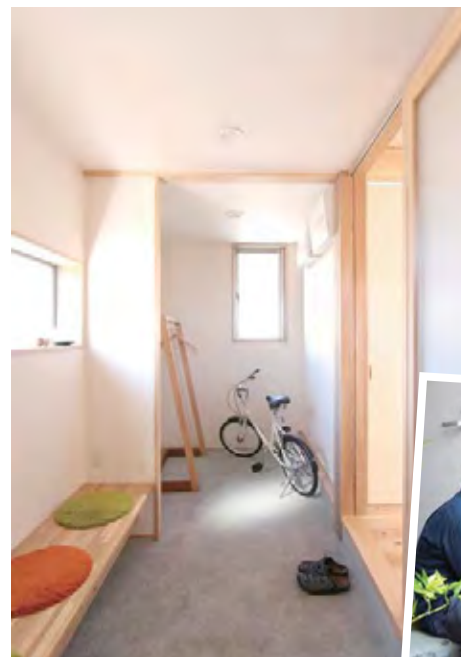


3 暮らしのみどころ



▲ ブックカフェのような場所

新しいお店がオープンしたらすぐに行ってみる!というくらい大学時代からずっとブックカフェ巡りが好きだったというご主人。ゆったりくつろぎながらお気に入りの本を読める、そんな場所が家のあちこちにありました。キッチンカウンターの側面を活かしたブックラックは、本を並べるとインテリアとしてもお洒落!



◀ ウチとソトをつなぐ土間

家に帰ってくるとほっとするような明るい雰囲気のある土間。「玄関を開けてからリビングに入るまでの余白がほしい」……そんなN様のご要望から生まれた土間空間です。



取材後記

この日はマスターアタラシに来てもらい、無人販売所とコーヒー屋台の撮影もさせて頂きました。「自分だったら唐揚げ屋台をやってみたいなあ」と楽しそうにお話されるN様。最近では自宅でお店をひらく「住み開き」をされる方が増えてきていますね。ご近所さんとのコミュニケーションツールとして色々な場所で賑わっていったら面白そう!と感じています。(記:広報 吉川)



設計・施工:相羽建設

撮影取材:伊藤・新・服部・吉川 ainoha/バックナンバーはこちら→<http://aibaeco.co.jp/photo/ainoha/ainohabackno/>





▼ ワクワクする場所

1様の住まいは階段を中心に回遊性のある間取になっています。階段横の通路にワークスペースをつくったり、長い廊下がウォークインクローゼットになっていたり、ワクワクするような工夫がたくさん!限られたスペースが最大限に楽しく活用されていました。

1,2,3…趣味のカメラ棚があるご主人の書斎スペース。4…2階子ども部屋。将来は間仕切りをして2部屋に。5…階段横は家族共有のワークスペース。

1	2	5
3		
4		



3 暮らしを楽しむ



◀ 家の中と外の薪棚をあわせて一年分ストックされた薪



▲ 炎のある暮らし

家を建てる前、薪ストーブイベントに参加したことをキッカケに炎のある暮らしに興味を持ったという1様。「冬になると、毎日朝と夜だけ火をつけています。余熱で一日あったかいですよ」とストーブライフを楽しまれていました。また、自宅の薪ストーブでつくる焼き芋やピザも格別の味です。

取材後記

とても朗らかなで家族で、楽しく貴重な時間を過ごさせてくださいました。そしてびっくりしたのが、1様がainohaのバックナンバーを全部とっておいて下さっていたということ!他にも「ナチュラルズム」というainohaができる前の会報誌も大事に保管されていて、家づくりの参考にさせて頂いていたそうです。そんな1様の丁寧さが住まいに反映されているのだなぁと感動した一日でした。(記:広報 吉川)



設計・施工:相羽建設

撮影取材:伊藤・吉川 ainohaバックナンバーはこちら→<http://aibaeco.co.jp/photo/ainoha/ainohabackno/>



特集 その後どのように暮らしていますか？

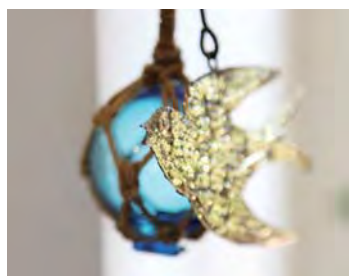
中庭がつなぐ二つの暮らし



特集 その後どのように暮らしていますか？

中庭がつなぐ二つの暮らし

東京都西東京市 | 木造一戸建て | H邸(ご夫婦+お子様1人)&K邸(ご夫婦)



1 ストーリー

白と黒、ふたつの対称的な外観の住まい。外壁のきれいなコントラストと中庭の植栽が風にゆらけている様子に、とても爽やかな気持ちになりました。さて、今回ご紹介させていただくのは、こちらに住みはじめて1年半ほど経つ、奥様同士が姉妹のH様・K様ご家族の暮らしぶり。奥様はもちろんご主人同士も仲良しのみなさんに、それぞれのライフスタイルについてお話を伺いました。



2

暮らしをつなぐ中庭

「何かあったときにすぐに助け合える距離感が安心で。両親が早くに亡くなったこともあり、姉妹二人で協力できるように、思い切って隣同士に家を建てることにしたんです」と当時の家づくりを振り返る奥様。さらに、せつ

かくなら共有のスペースをつくろうと、二つの家の間に中庭を設けました。平日以外はほとんど一緒にご飯を食べているというみなさん。「それぞれの家で食べたり、天気の良い日はキャンプ道具をひろげて、中庭の

デッキでバーベキューをすることもありますよ!」ご主人。この日もH様の息子さんとプードルのチャイちゃんが、家同士を行き来して楽しそうに走り回っていました。家族の笑顔をつなぐ素敵な場所です。



H邸

(ご夫婦+お子様1人)

木造ドミノ住宅



暮らしに緑をそえる

H様の家は、自分たちらしく暮らしに手を加えられる「木造ドミノ住宅」。質感や形が異なる家具の素敵な組み合わせに、ご夫婦のセンスを感じます。家の中には大小様々な緑が飾られていて、「いずれはもっとグリーンを増やしてジャングルみたいにしたいんですよ」とご主人。住んだあとの暮らしの変化も楽しみの一つですね。



お洒落で使いやすいキッチン

フードスタイリストの奥様。パントリーには日常品だけでなく、お仕事先の食器やクロスも種類別に収納されていました。可愛い黄色の壁タイルはご自身で探されたのだそう。勝手口は庭のデッキにつながっていて、回遊性も抜群!



便利な玄関周り

キャンプ好きのご夫婦のために、車への道具の出し入れが容易な土間収納。また、玄関を入ってすぐ横に洗面台があるのも便利なポイントです。





K邸

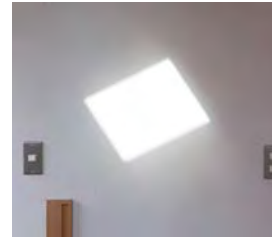
(ご夫婦2人)

i-works



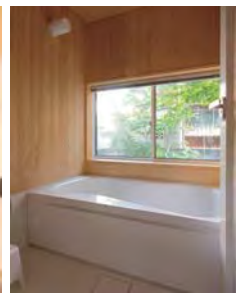
シンプルに暮らす

K様の家は、シンプルに美しく暮らす「i-works」。相羽建設のi-worksモデルハウスにはじめて訪れたときに一目惚れしたというK様ご夫婦。「共働きなので、2人とも仕事から帰ってからこの家でゆっくりつろぐのが毎日の楽しみなんです」とにっこり笑顔。お酒をたしなむご主人は、ソファでくつろぎながら至福の一杯を。



それぞれの居場所

家のどこにいても、落ち着ける空間のあるK様のお住まい。窓の外の紅葉を眺められる浴室や、非常時にも便利な収納倉庫も見せて頂きました。部屋ごとにそれぞれの役割があって飽きることがない、安心感のある居心地の良い家。



左上:リビングダイニング。右上:籠れる書斎スペース。左下:落ち着いた和室。下中央:玄関脇にある収納倉庫。右下:紅葉の見えるサワラのお風呂。

取材後記

対称的なお住まいでしたが、どちらのライフスタイルもとても素敵でした!そして、二つの家族をつなぐ中庭の存在もすごく印象的で、共有スペースがあることで暮らしの豊かさがひろがるのだなぁと感動した一日となりました。これからの暮らしぶりも楽しみですね。(記:広報 吉川)



設計:相羽建設(中村 健一郎)

撮影取材:伊藤・吉川 ainoha/バックナンバーはこちら→<http://aibaeco.co.jp/photo/ainoha/ainohabackno/>

